

志教育全体計画（宮城県立迫支援学校 小学部）

児童生徒の実態、教師の願い 障害の重度化・多様化、自閉症児の増加が進む一方、高等部では比較的の障害の程度が軽い生徒も増えている。 自立活動の指導を中心とした個別の指導計画による貫通性、連続性のあるきめ細かな指導により障害による学習上や生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度や習慣を養いたい。	本校の教育目標 児童生徒一人一人の発達段階や能力・特性に応じた教育を行うことにより、心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指す。 ・みんなと仲良く協力し合う児童生徒 ・何事にも進んで取り組む児童生徒 ・明るく元気でたくましい児童生徒 ・自分の役割をしっかりと果たす児童生徒	保護者や地域の願い 保護者は適切な理解と支援を得て、在学中はもとより学校を卒業しても、安心して生活できるように願っている。将来的には、その子なりに自立した生活を送ってほしいと願っている。 児童生徒の生涯に渡る豊かな地域での生活を目指し、個別の教育支援計画の策定を通して地域の関係機関とのネットワークの構築を目指す。
	「志教育」の目標 自分のもっている力を可能な限り發揮し、支援を得ながら社会の一員としてよりよく生きようとする児童生徒の育成	

重点指導事項（小学部）		
人と「かかわる」(A)	よりよい生き方を「もとめる」(B)	社会での役割を「はたす」(C)
家族や教師、友達等身近な人々と接しながら、挨拶や返事をして、自分の気持ちを伝えることができるよう支援する。	自分の好きなことや興味をもったことに進んで取り組むことができるよう支援する。	家庭での手伝いや学級の係活動・清掃活動等に関心をもって取り組むことができるよう支援する。

各教育活動における取り組みの観点		学部の目標
日常生活の指導	○児童の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動を適切に指導する。	・小学部では教育活動を人間形成にとって基礎となる重要なものととらえ、児童一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた指導を行う。
遊びの指導	○遊びを学習活動の中心に据えて、身体活動を活発にし、仲間との関わりを促し、意欲的な活動を育み、心身の発達を促す。	・身近な人たちとの関わりの中で、生活経験を増やし、日常生活に必要な基本的な生活習慣や基礎的な知識・技能の習得と、調和のとれた心身の発達を促すことができるよう支援する。
生活単元学習	○生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習する。	
国語	○生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。	
算数	○生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。	
音楽	○表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。	
体育	○適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。	
特別の教科道徳	○学校教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。	
特別活動	○望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。	
自立活動	○児童が自立を目指し、障害による学習上や生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。	

家庭との連携	地域・企業との連携
<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を活用した緊密な連絡 基本的生活習慣の確立に向けての協力 学校だよりや学部だより等での啓発 地域の行事や連携会議、公開講座等への参加の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校づくり 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実促進 近隣の小学校や青年会議所の方との交流及び地域交流の促進 運動会、ゆめ花祭、学校見学会等を通しての理解啓発 個別の教育支援計画策定を通した関係機関との緊密な連携の構築